

## 住宅と窓 その2

### Vol. 4

P

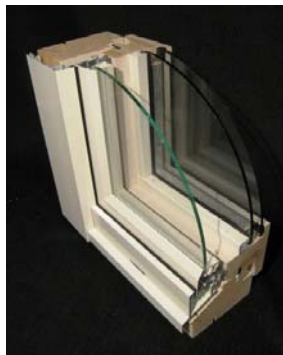
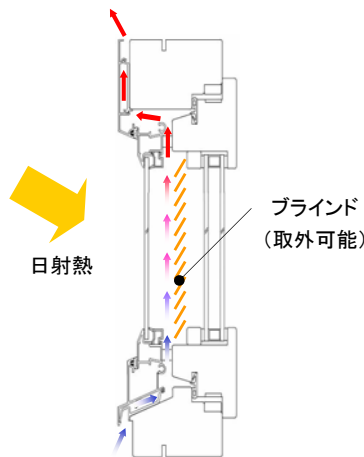
#### 第4号のポイント

1. スウェーデン製木製窓で冬場の熱損失対策は万全。
2. ブラインド内蔵型の窓で日射熱をシャットアウト。
3. “Komoto Hus”の窓は、「ツー・プラス・ワン」!

?

#### 筆者プロフィール

金井田晃央(かないだあきお)  
 1975年 群馬県生まれ  
 日本大学大学院(建築・構造)を卒業後、スウェーデンへ渡る。  
 スウェーデンで住宅・建材の輸出マネージャーを10年間務める。  
 河本工業の次世代型住宅である“Komoto Hus”(河本ヒュース)の開発メンバーに携わる一人。  
 スウェーデン住宅・建材・家具等の輸入手配を主に担当している。  
 筆者ホームページ:  
<http://mala-gruppen.com>



ブラインドが日射熱を防ぐ「ツー・プラス・ワン」(Komoto Hus)

Hejsan! 前回のお話では、住宅の断熱を考えていくと、壁部より開口部の断熱の方が難しく、しかも冬場の熱損失だけでなく、夏場の日射熱にも対応していかなければならないということでした。

そこでまず、“Komoto Hus”では、断熱・気密性に定評のあるスウェーデン製木製窓を検討します。これは3層ガラスで、断熱性も抜群によく、冬場に結露を起すことはほとんどありません。北欧スウェーデン仕様の窓であれば、冬場の熱損失対策は万全です。しかし、問題は夏場です。断熱性の高い窓は、夏場の高い外気温を防いでも、日射熱はガラス面を通して室内へ入ってきます。カーテンをすれば日射(光)は防げるものの、日射熱はすでに室内へ入ってきてしまうので厄介です。つまり、日射熱は、窓より外側でシャットアウトする必要があるわけです。

この要望に応えたのが、ブラインド内蔵型の2+1=3層ガラス木製窓、通称、「ツー・プラス・ワン」です。内蔵ブラインドを閉める(下ろす)ことで、日射熱のほとんどを室内に入れることなく外へ放出できます。ブラインドがあるのでカーテンも不要。ブラインドはガラス間に内蔵されているものの、掃除や取外しも可能。2+1=3層ガラスは通常の3層ガラスに比べガラス面の厚みは約8cmにもなり、構造上、防音性能が40dB(デシベル)と防音窓クラス・・・、その他にも様々なメリットがあります。

こうして、冬に暖かく、夏も涼しい“Komoto Hus”の開口部に、「ツー・プラス・ワン」を据えました。次回はこの窓の珍しい開閉方式についてお話します。お楽しみに!

文責 金井田晃央 ( 筆者へのお問い合わせ先: [info@mala-gruppen.com](mailto:info@mala-gruppen.com) )

**Innovation** : イノベーションとは、これまでのもの、仕組みなどに対して、  
 全く新しい考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起すこと。